

30年の記録 京都市立芸術大学美術教育研究会

昭和27年(1952)2月9日～昭和57年(1982)7月4日

目 次

1. 研究集会の記録	2
① 研究大会の開催	2
② 研究例会の開催	8
③ その他講習会・海外研修旅行・展覧会	14
2. 刊行物	16
① 会誌「美」の刊行 同掲載論文索引	16
② 現代の美術教育	31
③ 美術鑑賞教育資料、同教師用指導書	31
3. 美術教育関係図書、資料の蒐集	31
4. 会 員	33
5. 役 員	33
6. 会 則	34

1. 研究集会の記録

① 研究会の開催

〔結成総会、研究集会〕

昭和27年2月9日

講演・児童画について、須田国太郎
教育技術、吉川 武

〔第1回研究会〕

昭和27年6月30日・7月1日

講演・才能と早教育、山松質文
美術教育の指導、佐和隆研
ガイダンスの新傾向、田中健一
古美術の研究と新美術、矢代幸雄

研究発表

美術教育私見・金川明治 描画の発達と構想
画・荒木賢治 技術指導の再認識・熊田誠司
色彩と環境・白子修二郎 新単元「配置配合」
・柴田穂 現地研修・京都博物館

〔第2回研究会〕

昭和28年1月24日

講演・美術鑑賞の指導、佐和隆研
アメリカの現代美術、ポールディング

研究発表

服飾指導について、渡辺信正 高校図画科に
ついて・黒田猛 芸能科指導について・藤村
良一

懇親会・智積院本坊

〔第3回研究会〕

昭和28年7月4日

講演・彫刻の指導について、辻 晋堂
美術教育における色彩構成の問題、長崎盛輝
現代日本画の課題、龍村 謙

研究発表

人間性の解放と美術教育・川村善之 美術鑑賞の指導・館花修 生活美術と文化性の発展に関連しての図工科・秋山利彦
懇親会・智積院

〔第4回研究会〕

昭和29年2月6日

講演・目的造形と美術教育、向井正也
モダンアートについて、堀内正和

研究発表

高校の美術教育に想う・野崎龍吉 桂、修学院両離宮について・上羽雅夫
映画・ハイチの美術教室、日本の美を求めて
見学・美大蔵品展

〔第5回研究会〕

昭和29年6月5日

講演・陶磁器の鑑賞法、谷田関次
映画・カルダーのモビール、日本美術をたづねて、
版画について

研究発表

中学校における創造表現(描画)指導・楳村睦親 色彩感覚とデザイン・中川寿一 美術鑑賞指導の資料・金川明治 色盲色弱生徒と色彩教育・川村善之 図工科における製図の取扱いについて・白子修二郎
鑑賞教材読本「日本と西洋の美術」出版記念会、智積院講堂

〔第6回研究会〕

昭和30年1月29日

講演・フランス美術について、木村重信
現地研修・フランス美術展、京都市美術館
〈この大会ではじめて現地研修〉

〔第7回研究会〕

昭和30年7月1日・2日

講演・日本画の歩み、小野竹喬、川北倫明

研究発表・梶村睦親

現地研修・美大蔵品展、醍醐寺、法界寺、平等院

懇親会・銀閣（京都駅前）にて

〔第8回研究大会〕

昭和31年6月30日

講演・雪舟の絵画について、佐和隆研

パネル討議・抽象画の指導について、堀内正和、

長崎盛輝、佐和隆研、渡辺信正

研究発表

美術教育に望むもの・片山実三郎 人間教育

における図工科の分野・松田与一 プラスチ

ック工芸・高橋忠久

現地研修・稲葉七宝、南禅寺、龍村織物

懇親会・紫明荘

〔第9回研究大会〕

昭和32年6月29日

講演・フランス古蹟めぐり、木村重信

工芸及び工作教育について

パネル討議・富本憲吉、上野伊三郎、龍村 謙

研究発表・陶器の製作について、映画、大阪豊

中高 陶器が出来るまで、映画、京都洛東中

構成教育の進め方、神戸本山中 ビザンチン

の工芸・元井能

現地研修・浄瑠璃寺

懇親会・月見館（観月橋）

＜この大会の総会で、美術教育振興のための運動を決議＞

〔第10回研究大会〕

昭和33年7月5日・6日

講演・デザインの基礎指導、長崎盛輝

実技講習・彫刻／辻晋堂 陶芸／富本憲吉

塗装／平館西一郎 染織／小合友之助

研究発表

構成学習の一システム・荒木賢二 商業高校

における美術教育・後藤直正

現地研修・渡岸寺、薬師堂

懇親会・円山観光会館

＜この大会ではじめて実技講習＞

＜教育課程改定に関して、関係方面への要望書を重ねて決議＞

〔講演会〕

昭和33年12月6日

ゴッホについて、植田寿蔵

〔第11回研究大会〕

昭和34年7月4日・5日

講演・プラスチック工芸、佐伯健作

欧米のインダストリアルデザイン 我妻 栄

実技講習・プラスチック工芸、デザイン実技／上

野伊三郎、幾何抽象形体／堀内正和

研究発表・デザインの基礎学習、上羽雅夫

現地研修・大徳寺山内 懇親会・魚満楼

〔第12回研究大会〕

昭和35年7月2日・3日

講演・印度美術の南と北、佐和隆研

分科会・①美術教育の中の道徳教育 ②描画、彫

塑の写生と構想表現 ③版画表現 ④デザイン

学習の方向

現地研修・収蔵庫特別展、醍醐寺、禅定寺

懇親会・新門荘

＜この大会ではじめて分科会を設置し、生徒作品を展示して研究した。また、各県教委、各中学校長あて、新教育課程実施に当り中学校美術2.2.2を確保されるよう要望書決議＞

〔第13回研究大会〕

昭和36年7月1日・2日

講演・ヨーロッパの風土と芸術、元井 能

分科会・①描画版画／徳力富吉郎 ②彫塑／堀内

正和 ③デザイン／向井正也 ④鑑賞／佐和隆

研 ⑤単元学習の系統的指導

教育課程対策運動・各中学校長等への要望書と現場の実績確保の運動を協議。

現地研修・収蔵庫特別展、鞍馬寺、峯定寺
懇親会・鶴清

〔第14回研究大会〕

昭和37年6月30日・7月1日

研究主題・デザイン教育の問題点
共同討議講師・堀内正和、長崎盛輝、向井正也、
元井 能

現地研修・収蔵庫特別展、清源寺、蔭涼寺
懇親会・大和屋旅館

<この大会ではじめて大会の研究主題を設定>

〔第15回研究大会〕

昭和38年6月29日・30日

研究主題・伝統と美術教育、デザインと美術教育
講演・日本の伝統と美術工芸、岡岡忠成
グッドデザインについて、我妻 栄
エジプト美術について、下村良之助

現地研修・Aエジプト美術展、ビュッフェ展
B金剛輪寺、西明寺、石馬寺
懇親会・スター本店(寺町)

〔第16回研究大会〕

昭和39年6月13日・14日

研究主題・鑑賞教育の実際指導
講演・ギリシャ彫刻とヴィナス像、上平 貢
公開授業・京都女子学園中学校、三田村宗二
高校、堀 憲司

鑑賞教育の問題点・川村善之、足立整郎
共同討議・鑑賞教育の問題点
現地研修・ヴィナス像(美術館)、松尾寺、金剛
山寺(矢田寺)、東明寺、靈山寺
懇親会・鮎鶴

<この大会では公開授業が行われた>

〔第17回研究大会〕

昭和40年7月3日・4日

研究主題・美術教育における創造のための材料研

究

講演・色彩を中心の材料研究、長崎盛輝 磁
分科会・①線材の面 ②竹の成形 ③面材、プラ
スチック ④面材、紙の構成 ⑤量材、粘土と
テクニック

講師・①山本格二 ②田中保 ③佐伯健作
④三宅多喜男、庄司達 ⑤小山喜平
懇親会・ビールパーティ

現地研修・収蔵庫特別展、高野山各寺院
<この年の現地研修ははじめて一泊>

〔第18回研究大会〕

昭和41年7月2日・3日

研究主題・造形基礎能力をどう育てるか
講演・IDの基礎教育、宮島久七
発想について、堀内正和

分科会・①色彩平面構成 ②面材立体構成 ③量
材立体構成
現地研修・ビールパーティ、後、吉野竹林院一泊、
吉野桜本坊、金峰神社、水分神社、如意輪寺、
大日寺、吉水神社、蔵王堂
<この大会で、中学校美術2.2.2の文部大臣、
審議会等への要望書を決議>

〔第19回研究大会〕

昭和42年7月1日・2日

研究主題・創造のための導入をいかにするかー
構想画とパッケージを手がかりにして
講演・日本画雑感、上村松篁

フィレンツェの人と芸術、上平 貢
研究提案・幼児教育・大野幹彦 小学校教育・
辻井利夫 中学校教育・江口善之・山田博
高校教育・林正明・寺村晴雄・内海次郎
懇親会・ビールパーティ

現地研修・円城寺、観音寺、蟹満寺

<この大会で、中学校美術2.2.2の要望書、関
係方面への運動を決議>

〔第20回研究大会〕

昭和43年6月29日・30日

研究主題・学習指導における作品評価

講演・インドネシアの美術、佐和隆研

レンブラントとモゼリアニ、今泉篤男

研究・風景画（京都朱雀中学校1年、1学級全作品）ポスター（西宮甲陵中学校2年、1学級全作品）を展示。午前参加者中100名が作品を採点投票。結果集計をもとに午後共同討議。

映画・レンブラント

現地研修・Aレンブラント展、モゼリアニ展

B来迎寺、西教寺、滋賀院、他里坊

懇親会・東寺洛南会館、秘宝展見学

<この大会で、教育課程改定に関し、高校美術、普通科では6、職業科では4単位の必修の要望書決議>

〔第21回研究大会〕

昭和44年6月28日・29日

会場・国立京都国際会館

研究主題・工芸教育の諸問題

講演・工芸について、元井 能

日本現代美術論、河北倫明

パネル討議・小山喜平、藤崎誠、来野月乙、中井貞次、辻井利夫、渋川麻、野崎龍吉、城貞男

現地研修・横蔵寺、華嚴寺

<この大会ではじめて学外会場で開催。>

〔第22回研究大会〕

昭和45年6月27日・28日

会場・京都府会館会議場

研究主題・美術教育における評価

講演・現代美術と美術教育、木村重信

万博美術展のみどころ、富永惣一

研究発表（分科会1小学校）辻井利夫

（2中学校）平岡潤、上田晴也

（3高校）椀村睦親

懇親会・小浜ロッジ

現地研修・小浜ロッジ一泊、羽賀寺、妙楽寺、円照寺、神宮寺、国分寺、明通寺

〔第23回研究大会〕

昭和46年7月3日・4日

会場・京都芸大

研究主題・美術教育における表現と技術

講演・イメージと技術、八木一夫

造形と心理学の接点、仲谷洋平

実技講習分科会・1石版画 2アクリル画 3織の基本 4ガラス工芸 5木工芸 6塗装 7カリグラフィ

講師・1吉原英雄 2中野光雄 3八木敏 4近

藤豊 5藤崎誠 6新海治 7鈴木佳子

研究発表・表現と技術について、星野日郎

領域別分科会・1絵画 2彫塑 3デザイン

4版画 5色彩 6工芸 7鑑賞 8幼児

9特殊 10評価

現地研修・勝尾寺（一泊）夜、各分科会の報告と討議、中山観音、清荒神

〔第24回研究大会〕

昭和47年7月1日・2日

会場・京都堀川会館、京都芸大及見学地

研究主題・美術教育における表現と技術

講演・芸術と技術文明、乾 由明

クロッキー会・裸婦、3室

研究発表・（分科会、1平面）竹内幸人（2立体）倉本英一（3評価）太田茂（4幼児教育）黒田猛（5不振児教育）宮崎実仁

実技講習・講師（1版画）吉原英雄（2彫刻）

野崎一良（3染色）佐野猛夫（4ガラス工芸）近藤豊

現地研修・鶴林寺、浄土寺、一乗寺

祝賀会・本会結成20周年祝賀パーティ

<この大会ではじめて、クロッキー会を行う。

第2日、実技講習と現地研修を併行>

〔第25回研究大会〕

昭和48年6月30日・7月1日

会場・大覚寺

研究主題・美術教育の現状とその問題点

講演・高松塚古墳の壁画、網干善教

オリエント・ギリシヤの美術、元井 能

展示、分科会・1 現代性と地域性 2 造形性

3 新しい授業の試み・教材教具

研究発表・美術教育の現状と問題点、江口善之

(分科会1) 星野日郎、竹内幸人 (2) 平岡潤、

泉地道子 (3) 大東純子、尾関礼次郎、松田高

治、池田一良、黒田猛

懇親会・大覚寺庭湖館

現地研修・大覚寺宝物館、庭園、庭湖館、大國寺、

篠山丹波古陶館、立抗窯元

〔第26回研究大会〕

昭和49年6月29日・30日

会場・京都堀川会館

研究主題・これからの美術教育

講演・美術教育について、山本正男

展示・子どものイメージを育てるイラスト

スライド発表・私の美術教室(各支部)

分科会・幼児、小・中・高・大学

研究発表・これからの美術教育・平岡潤 世界

の絵本展示について・江口善之

(分科会) 雑賀淳、星野日郎、北里桂一、渋川

麿、黒田猛、倉元英一、松岡征士、上田晴也

懇親会・堀川会館

現地研修・渡岸寺、石道寺、鶴足寺、充滿寺

〔第27回研究大会〕

昭和50年6月28日・29日

会場・京都教育文化センター

研究主題・子どもの心を育くむイラスト

講演・古代の新しいみかた、梅原 猛

映画・イメージの展開、CMフィルム

展示・世界の絵本、イラスト作品

研究発表・子どもの心を育くむイラストレーショ

ン・平岡潤 (分科会1 絵本とイラスト) 池

永則子、江口善之、泉地道子 (2 イラスト

教材) 金光明子、竹内幸人、村村睦親 (3

テレビと美術教育) 勝見成太郎

懇親会・教文センター春陽堂

現地研修・吉村邸、葛井寺、道明寺、菅田八幡宮

〈この大会で、教育課程改定に対する文部大臣、

審議会への要望書を決議〉

〔第28回研究大会〕

昭和51年6月26日・27日

会場・比叡山延暦寺会館

研究主題・美術教育とイメージ

講演・イメージと人間、藤岡喜愛

宗教と人間、堀次祖門

研究発表・美術教育とイメージ・池田一良

分科会・(1 絵画彫塑のイメージ) 松岡征士、黒

田猛 (2 工芸デザインのイメージ) 雑賀淳、

名孝孝之 (3 日々実践の問題点) 阿部佳男、

駒井達子 (4 これからの美術、工芸、図工

科) 谷口侃、上田歌子

現地研修・延暦寺書院、西塔

〈この大会は会員宿泊、夜おそくまで研究討議

を行った〉

〔第29回研究大会〕

昭和52年7月2日・3日

会場・京都大学楽友会館

研究主題・人間性と美術教育

講演・人間性と美術教育、鱒坂二夫

日本の心と色彩、長崎盛輝

研究発表・(分科会1) 大主体の美術教育・中谷

健三 (2) 人間性と美術教育・土肥通春

(3) 現行教科書の問題点・竹中保

現地研修・現光寺、海住山寺、観音寺、伊賀焼

陶窯一講師、田村隆照

〔第30回研究大会〕

昭和53年7月1日・2日

会場・京都市伝統産業会館

研究主題・生活と美術教育一人間を描く一
生活につくる一

講演・工芸と生活、佐藤雅彦

研究発表・(分科会)1 幼児(養成大学を含む)

及小学校一土肥通春・金光明子・池田一良

2 中学校及小学校高一平岡潤・尾関礼次郎・雲

林院太郎・内藤敦夫・中谷温男・上田歌子・平

岡達子 3 高校一中谷健三・山崎良子・坂手

得二・相村睦親 4 大学高校専門一足立真三

・吉富ヤスオ・村上文生 5 工芸教育一名合

孝之・吉川幸直・寺山芳治・山下進公・野崎龍

吉 6 養護教育一星野日郎・森脇勤

展示・各分科会作品展示発表

特別展示・① 本会の足どりと大会30回回顧展

② 芸大新学舎の概観展

現地研修・富本憲吉記念館、額安寺、今井町民家

〔第31回研究大会〕

昭和54年6月30日・7月1日

会場・京都芸大、学内

研究主題・美術教育における指導計画

講演・私の古代学、梅原 猛 分科会2

クロッキー会・裸婦3室

研究発表・指導計画について・平岡潤 (分科

会1) 小学校図工科の指導計画・雑賀淳 指

導計画の作成・泉地道子 養護学校の指導計

画・河瀬桂子 盲学校における美術教育・宮

崎又行 (2) 美術科年間学習指導計画・長谷田

三保子 私の指導計画・菱本光一郎

展覧会・お別れ学舎を描く会会員作品展

現地研修・油日神社、櫛野寺、阿弥陀寺、善水寺

〔第32回研究大会〕

昭和55年6月28日・29日

会場・京都芸大、新学舎中央棟

研究主題・美術教育と指導計画

講演・私の中の東洋、前田常作

研究発表・模倣と創造の関係・安田保之

(分科会1) 美術科の年間指導計画・松元雅夫

高校美術年間学習計画・中西和夫 (2) イメー

ジと表現・高瀬善明 造形諸能力の相関・川

村善之 (3) 幼稚園における指導計画・土肥通

春 (4) 養護教育について・加藤いく子

現地研修・獅子窟寺、北田家民家

〔第33回研究大会〕

昭和56年7月4日・5日

会場・京都都会館会議場、会議室1~5及見学地

研究主題・想像力と美術教育

講演・染織基礎に想う、三浦景生

研究発表・(分科会1、幼児教育) はじめてのえ

のぐ・奥美佐子 幼児造形教育とVTR・前

川秀治 (2 小学校) イメージを広げる表現

・雑賀淳 (3 中学校) 想像力と教師の役割

・明星新二 (4 高校) 創造力、想像力と美

術教育・近藤勝彦 (5 大学) 現代学生の発

想形体・足立真三 (6 養護) 養護学校にお

ける陶芸・平井基子

懇親会・京都都会館都ホテル食堂

現地研修・南河内、和泉方面、観心寺、金剛寺、

孝恩寺

〔第34回研究大会〕

昭和57年7月3日・4日

会場・京都芸大中央棟

研究主題・美術の鑑賞教育

講演・絵画のメッセージ、高階秀爾

研究発表・鑑賞教育、江口善之

(1) 高校における鑑賞教育・山下毅 イメージ

画の指導と鑑賞・碓洋子 (2) 鑑賞教育と用語

・中谷健三 中学生の鑑賞能力の実態・堀内

桂子・佐貫みち子

30周年記念祝賀会

現地研修・大和方面、天理参考館、長岳寺、八幡

神社(白米密寺遺品)

② 研究例会の開催

昭和40年以前は、研究集会は年1回の大会だけであったが、40年2月から、日常的、継続的な研究活動の中に大会を位置づけるため、研究例会が毎月開かれるようになった。

註：()は会場、特に記載のないのはすべて大学内、㊦は共同討議。

第1回研究例会 S. 40. 2. 21 研究大会と研究例会のつながり、研究部会の役割について
㊦ 当面の研究課題について㊦

第2回研究例会 S. 40. 4. 16 紙ひもによる工芸・榎村睦親 中学校美術科年間カリキュラム・升本真一 感覚訓練と技術訓練・青山泰

第3回研究例会 S. 40. 5. 23 創造のための材料研究について㊦ 造形素材としての線材、面材、量材㊦

第4回研究例会 S. 40. 6. 13 造形素材の分析研究㊦

第5回研究例会 S. 40. 7. 10 (大阪・サクラクレパス) 17回研究大会の研究まとめ㊦

第6回研究例会 S. 40. 9. 19 (立命館高) 木版画によるブックカバー・江口善之 美術科におけるテレビ校内放送の利用・足立整郎

INSEA国際会議報告・川村善之、城 貞男

第7回研究例会 S. 40. 10. 24 造形能力、材料経験の系列化㊦ 43年教育課程改定の動きについて㊦ 美術教育資料室計画

第8回研究例会 S. 40. 11. 28 造形能力要素表の作成について㊦

第9回研究例会 S. 41. 1. 23 (紫明荘) 動く模様・竹内幸人 描画「魚」・渋川麿 幼児の絵、指導したものしないもの・大城載子 実物をみた記憶画・川村善之 定規コンパスでもよう・金谷嘉雄 ランシャ紙貼絵・野崎龍吉

第10回研究例会 S. 41. 2. 27 ペン画に

よる名作彫刻写真の模写・金谷嘉雄 白長石の彫刻・渋川麿 木彫彫彫り壁かけ・野崎龍吉 画用紙立体構成・川村善之

第11回研究例会 S. 41. 4. 3 画用紙による立体構想作品・升本真一 白長石と石膏の抽象彫刻・上田晴也 プラスチック板の立体構成・渋川麿 鳥獣戯画による運筆・大原清

第12回研究例会 S. 41. 5. 15 立体空間構成における創造性㊦ 紙による立体構成とそのデッサン・榎村睦親

第13回研究例会 S. 41. 6. 19 造形基礎能力をどう進めるか㊦ 18回大会討議のための作品準備、色彩平面、面材立体、量材立体㊦

第14回研究例会 S. 41. 7. 10 18回大会分科会研究のまとめ㊦ 今後の中心研究課題㊦

第15回研究例会 S. 41. 9. 11 図画工作科プログラム学習について・雑賀 淳

第16回研究例会 S. 41. 10. 23 想像画について・今井憲一 ミロ氏に同行して・亀田正雄 構想画の実践・渋川麿

第17回研究例会 S. 41. 11. 23 創造のための導入をいかにするか㊦

第18回研究例会 S. 42. 1. 22 生徒の発想と教師の導入㊦ 資料と導入、技術導入、一斉授業とグループ学習㊦

第19回研究例会 S. 42. 2. 19 美術科の教科性と系統性・渋川麿

第20回研究例会 S. 42. 2. 19 造形の発想、パッケージデザインの場合と絵画(構想表現)㊦

第21回研究例会 S. 42. 4. 16 小学校でのお話の絵の導入・辻井利夫

第22回研究例会 S. 42. 5. 14 幼児の造形活動における導入・大野幹彦

第23回研究例会 S. 42. 6. 4 構想画の導入について・山田 博

第24回研究例会 S. 42. 6. 24 創造的表

現活動のための導入㊦

第25回 研究例会 S. 42. 7. 9 19 回研究大会の研究まとめ㊦

第26回 研究例会 S. 42. 8. 19~20 (北条、周山にて一泊研修) 認識と表現㊦ 講師・石田正

第27回 研究例会 S. 42. 9. 24 伝統工芸と美術教育㊦ 見学・西陣500年展

第28回 研究例会 S. 42. 11. 5 講演・生活文化について・吉田光邦 生活文化と美術教育と日本の美術教育の流れ㊦

第29回 研究例会 S. 42. 12. 27 生活と美術教育、造形能力㊦

第30回 研究例会 S. 43. 1. 28 造形能力、応能教育について㊦ 学校の授業と家庭学習㊦

第31回 研究例会 S. 43. 2. 25 造形、美術の能力と知的能力㊦

第32回 研究例会 S. 43. 4. 21 低辺の児童生徒、とりのこされる児童生徒㊦

第33回 研究例会 S. 43. 5. 19 学級全生徒の作品による作品評価㊦

第34回 研究例会 S. 43. 6. 9 中学校における風景画の指導・上田晴也 写生画とポスターの作品評価・雑賀 淳

第35回 研究例会 S. 43. 9. 15 20 回大会研究のまとめ㊦ 美術の表現と主張するもの㊦

第36回 研究部会 S. 43. 10. 27 講演・現代社会と美術教育・梶野あきら

第37回 研究部会 S. 43. 11. 16 社会主義リアリズムと社会的美術教育㊦

第38回 研究部会 S. 43. 12. 14 造形能力に関する調査研究中間報告・仲谷洋平、城貞男

第39回 研究部会 S. 44. 1. 25 造形能力発達の実態と問題点㊦

第40回 研究部会 S. 44. 2. 22 「人間」をテーマにした年間指導の実践・野崎龍吉

第41回 研究部会 S. 44. 3. 29 美術教育

における評価・竹内幸人

第42回 研究部会 S. 44. 4. 13 日本の生活造形、日本のかたち㊦

第43回 研究部会 S. 44. 5. 18 講演・ドイツの教育と美術教育・ラインハルト・フリッケ 西独の美術教育と日本の美術教育㊦

第44回 研究部会 S. 44. 5. 31 日本の民芸と工芸教育㊦

第45回 研究部会 S. 44. 6. 14 改定中学校指導要領における工芸㊦

第46回 研究部会 S. 44. 7. 13 21 回大会の研究まとめ㊦ 次年度研究課題について㊦

第47回 研究部会 S. 44. 9. 14 美術教育における評価㊦

第48回 研究例会 S. 44. 10. 4 講演・評価について・仲谷洋平

第49回 研究例会 S. 44. 11. 15 美術教育評価と作品研究㊦

第50回 研究例会 S. 45. 2. 22 美術教育における評価の諸問題・川村善之

第51回 研究例会 S. 45. 4. 10 ドライポイント、エッチングによる自画像・平岡 潤 木版画、風景写生、平面構成作品の評価・野崎龍一

第52回 研究例会 S. 45. 5. 17 講演・美術教育の評価の二重性・金沢大士

第53回 研究例会 S. 45. 6. 13 クロッキーの評価・上田晴也 作品評価について・平岡潤

第54回 研究例会 S. 45. 7. 21 22 回大会研究のまとめ㊦

第55回 研究例会 S. 45. 8. 26 (京都私学会館) 作品評価の観点について㊦

第56回 研究例会 S. 45. 9. 12 通知票の改善・太田 茂

第57回 研究例会 S. 45. 10. 24 分析評価、記述尺度による作品評価㊦ 生徒作品の個性㊦

- 第58回 研究例会 S. 45. 11. 21 中学校
新指導要領、美術科の内要検討㊦
- 第59回 研究例会 S. 45. 12. 20 各領域
教材の評価観点㊦
- 第60回 研究例会 S. 46. 2. 6 領域別・
問題別研究部会各部会の研究報告㊦
- 第61回 研究例会 S. 46. 3. 13 ポスター
作品評価の評価観点案・評価研部会
- 第62回 研究例会 S. 46. 4. 11 表現とそ
の動機㊦ 表現と素材㊦
- 第63回 研究例会 S. 46. 5. 15 美術教育
における表現と技術・川村善之
- 第64回 研究例会 S. 46. 6. 20 工芸教育
における表現と技術・星野日郎
- 第65回 研究例会 S. 46. 8. 17 絵画教育
実態調査・竹内幸人 鑑賞教育調査研究・大田
茂、楳村睦親
- 幼児教育部会研究会 S. 46. 8. 26 講演・
幼児の心理と造形、仲谷洋平
- 第66回 研究例会 S. 46. 10. 2 創造性を
育てるイメージ・池田一良
- 工芸教育部会研究会 S. 46. 11. 7 (立命館高)
竹工実技実習
- 評価部会研究会 S. 46. 11. 21 (守口市)
- 幼児教育部会研究会 S. 46. 12. 12 (上賀茂
保育園) 講師・仲谷洋平
- 第67回 研究例会 S. 47. 1. 29 (岡崎洛陽
荘) 想像力と創造性㊦ 今後の重点課題㊦
- 第68回 研究例会 S. 47. 2. 26 表現と技
術、創造性と教科性㊦ 美術教育の諸思潮㊦
- 第69回 研究例会 S. 47. 4. 22 美術教育
における表現と技術㊦
- 第70回 研究例会 S. 47. 5. 13
平面造形の表現と技術・竹内幸人、勝見成太郎
- 第71回 研究例会 S. 47. 6. 3 立体造形
の表現と技術・倉元英一、堀本良子 評価の問
題点・太田 茂、林 正明
- 第72回 研究例会 S. 47. 7. 22 24 回大
会各分科会研究のまとめ㊦
- 第73回 研究例会 S. 47. 9. 10 美術教育
の現状と問題点㊦
- 第74回 研究例会 S. 47. 10. 14 生活画
と構想画による作品分析。1.生活意識 2.地域性
3.指導との関連 4.発達段階 5.性格行動㊦
- 工芸教育部会研究会 S. 47. 10. 21 (立命
館高) 竹工芸技術講習会
- 第75回 研究例会 S. 47. 11. 18 生活画
の指導・竹内幸人 構想画の主題とその傾向㊦
- 色彩教育部会研究会 S. 48. 1. 18
- 第76回 研究例会 S. 48. 2. 20 構想画作
品の分析研究㊦
- 幼児教育部会研究会 S. 48. 4. 2
- 第77回 研究例会 S. 48. 4. 22 精密写生、
「昆虫」から幻想の構成へ・楳村睦親
- 第78回 研究例会 S. 48. 5. 6 美術教育
の施設設備㊦
- 幼児教育部会研究会 S. 48. 5. 27
- 第79回 研究例会 S. 48. 6. 2 美術教育
の現代性と地域性・長田善史
- 第80回 研究例会 S. 48. 6. 17 各地会員
の指導作品(大阪、京都、兵庫、奈良、山口、福
岡、熊本、鹿児島、愛知、新潟、栃木)の分析㊦
- 第81回 研究例会 S. 48. 7. 21 (京都教文
センター) 25 回大会研究のまとめ㊦
- 第82回 研究例会 S. 48. 8. 25 (大阪なに
わ会館) 近刊美術教育関係文献の紹介㊦
- 第83回 研究例会 S. 48. 9. 16 近刊文献
紹介・大工道具の歴史・想像と創造・美術教育の
背景と構造㊦
- 第84回 研究例会 S. 48. 10. 20 文献紹
介、美術教育学はいかにして可能か㊦
- 第85回 研究例会 S. 48. 11. 24 (嵯峨美
術短期大学)
- 第86回 研究例会 S. 48. 12. 15 現状認
識と問題把握から美術教育を考える・川村善之
- 幼児教育部会研究会 S. 48. 12. 22 (園田

- 学園女子短大)
- 第87回 研究例会 S. 49. 1. 19
創造的美術教育㊦
- 第88回 研究例会 S. 49. 2. 9 (西宮市教育会館) 見学・美術教育史資料展、盲児の造形
- 第89回 研究例会 S. 49. 4. 21 子どもの生活と絵本㊦ 世界各国絵本のイラスト㊦
- 第90回 研究例会 S. 49. 5. 11 イメージを豊かにする学習指導・雑賀 淳
- 第91回 研究例会 S. 49. 6. 15 高校芸術科の諸問題・松岡征士
- 第92回 研究例会 S. 49. 7. 21 26回大会研究のまとめ 美術教育とイラストレーション㊦
- 第93回 研究例会 S. 49. 9. 14 講演・初期経験の重要性・絵本と子どもの心理・仲谷洋平
- 第94回 研究例会 S. 49. 10. 12 イラストの興味調査・金光明子 よい絵本よくない絵本の造形的分析㊦
- 第95回 研究例会 S. 49. 11. 16 絵本づくりの指導・金光明子 絵本イラストの分析比較㊦
- 第96回 研究例会 S. 49. 12. 21 講演・子どもと絵本の関りあいの原点・中川<京女大>
- 第97回 研究例会 S. 50. 1. 18 絵本の分類分析㊦ イラストレーションの語義とデザインの中での位置・池永則子
- 第98回 研究例会 S. 50. 2. 22 絵本に対する興味調査、中間報告・泉地道子
- 第99回 研究例会 S. 50. 4. 12 講演・絵本の蒐集とその所感・山本格二
- 第100回 研究例会 S. 50. 5. 17 絵本に対する子どもと父母の興味調査㊦ モデル絵本について㊦
- 第101回 研究例会 S. 50. 6. 14 大会の研究資料再検討㊦
- 第102回 研究例会 S. 50. 7. 20 (大阪な
- にわ会館) 27回大会研究まとめ㊦ 教育課程改定運動上京報告・川村善之、阿部佳男
- 幼児教育部会研究会 S. 50. 8. 30 (上賀茂保育園)
- 第103回 研究例会 S. 50. 9. 27 美術教育におけるイメージの意義・池田一良 ヨーロッパ美術研修報告・江口善之
- 第104回 研究例会 S. 50. 10. 25 専門教育実技の評価・冬木偉沙男
- 幼児教育部会研究会 S. 50. 11. 1 (兵庫)
- 第105回 研究例会 S. 50. 11. 15 人間を育てる美術教育・平岡 潤、雑賀 淳
- 幼児教育部会研究会 S. 51. 1. 11 (上賀茂保育園)
- 第106回 研究例会 S. 51. 1. 15 (大阪青少年会館) 日本美術教育連合研究会の報告・江口善之
- 教育課程問題研究会 S. 51. 1. 22 日教組教育課程委案について・講師 箕田源二郎 同案における美術教育㊦
- 第107回 研究例会 S. 51. 2. 14 (京都勤労会館) 伝統と創造(小野竹喬講演)㊦ 日教組案の検討㊦
- 第108回 研究例会 S. 51. 3. 6 精薄児の作品にみるイメージ・星野日郎 ポスター自分の訴えたいこと・平岡 潤
- 第109回 研究例会 S. 51. 4. 17 水平垂直の面分割構成とイメージ・江口善之
- 第110回 研究例会 S. 51. 5. 9 作品(記号)とイメージの創造・川村善之
- 第111回 研究例会 S. 51. 6. 5 20回大会の研究内容㊦ 教科改定と中学美術・谷口侃 美術科での基礎・林 正明 工芸と形の感覚・名合孝之
- 第112回 研究例会 S. 51. 7. 17 (京都堀川会館) 28回大会各分科会の研究まとめ㊦ 新しい絵の会研究会の報告・平岡 潤
- 第113回 研究例会 S. 51. 8. 16~17

(北桑周山にて一泊研究) 小学校区工科年間指導計画・尾関礼次郎 中学校美術科年間指導計画・平岡 潤 高校年間指導計画・松岡征士、野崎龍吉

第114回 研究例会 S. 51. 9. 11 基礎的造形技術の指導と創造的な個性表現㊦ 造形要素練習と表現㊦ 教えるものと育てること㊦

第115回 研究例会 S. 51. 10. 23 造形要素練習教材と基礎能力・梶村睦親 造形教育の理念と現実・川村善之

第116回 研究例会 S. 51. 11. 20 人間性と美術教育・土肥通春 デッサンについて・竹中 保

第117回 研究例会 S. 51. 12. 18 現行美術教科書批判・竹中 保 人間性と美術教育㊦

第118回 研究例会 S. 52. 1. 22 講演・人間性の構造・金沢大士

第119回 研究例会 S. 52. 2. 13 (西宮市大谷記念美術館) 見学・絵本原画展 教科主義と美術教育、人間と社会と個性・川村善之

第120回 研究例会 S. 52. 3. 12 版画指導の実践報告・中谷健三

第121回 研究例会 S. 52. 4. 23 人間性をふまえた美術教育・土肥通春

第122回 研究例会 S. 52. 5. 28 大主体性に基いた美術教育・中谷健三

第123回 研究例会 S. 52. 6. 26 情報化社会における指導、伝達・竹中 保

第124回 研究例会 S. 52. 8. 26 (京都教文センター) 29回大会反省㊦ 人間と美術㊦

第125回 研究例会 S. 52. 9. 23 人間を描くー生活と美術教育㊦ ヨーロッパの美術・野崎龍吉

第126回 研究例会 S. 52. 10. 15 生活と美術教育・中谷健三 人間を描く指導・林正明 雑賀 淳

第127回 研究例会 S. 52. 11. 26 講演「人間と宗教」宮地廓慧 作品研究「中学生の

一日」、平岡 潤

第128回 研究例会 S. 52. 12. 10 人間を描く㊦ 作品研究・尾関礼次郎、平岡 潤、名合孝之

第129回 研究例会 S. 53. 1. 28 作品研究・星野日郎 生活と工芸㊦

第130回 研究例会 S. 53. 2. 25 (大阪私学教文会館) カレイドサイクルの教材・星野日郎 作品研究の諸観点㊦

第131回 研究例会 S. 53. 4. 15 アクリルえのぐによる心象絵画「人間、人生」・坂手得二 自画像・中谷温男 生活版画・内藤敦夫

第132回 研究例会 S. 53. 5. 20 人間を描く・梶村睦親 彫塑「手の表情」、野崎龍吉 手織共同制作のための下図・寺山芳治 私の一日絵巻物・上田歌子 人と物とのかわりあい・平岡達子 好きなあそび・池田一良 水彩 絵具紙染め・山下進公

第133回 研究例会 S. 53. 6. 11 単純形体200種の表現・足立真三 イメージと造形・村上文生 「追体験、万物との一体感」の導入・中谷健三 自画像の指導・雲林院太郎 陶芸指導・吉川幸直 人物をかく・金光明子 幼児の遊び表現・土肥通春 私製絵本・山崎良子

第134回 研究例会 S. 53. 9. 24 (大阪なにわ会館) 30回大会研究のまとめ㊦ 今後の課題

第135回 研究例会 S. 53. 10. 14 新指導要領について・加藤正明 新指導要領検討㊦

第136回 研究例会 S. 53. 11. 18 障害児教育について・岡島隆男 絵画の平面性について・江口善之

第137回 研究例会 S. 53. 12. 16 鑑賞と創作の関連性についての一考察・中谷健三

第138回 研究例会 S. 54. 2. 17 (京都東山会館) 幼児の絵画指導・黒田 猛 造形能力評価の一致度について・川村善之

- 第139回 研究例会 S. 54. 3. 27 見学、
香呂井上郷土玩具館 香寺民族資料館
- 第140回 研究例会 S. 54. 4. 28 (伏見玉家) 美術教育の施設設備と指導計画・安土 優
- 第141回 研究例会 S. 54. 5. 19 小学校における指導計画・尾関礼次郎 美術教育の多様性と一貫性・松田高治
- 第142回 研究例会 S. 54. 6. 9 指導計画について・雑賀 淳、長谷田三保子、高浜 椋、河瀬桂子
- 第143回 研究例会 S. 54. 8. 24 (日赤大阪府支部) 新設校における指導・今井梅男
第31回研究大会研究まとめ㊦
- 第144回 研究例会 S. 54. 9. 29 (京都公会館) 情報化社会における美術教育・竹中 保
改定高校教育課程における芸術科履修の問題点・名合孝之
- 第145回 研究例会 S. 54. 10. 27 小学生の色彩指導・金光明子 視覚教材の活用・上羽雅夫
- 第146回 研究例会 S. 54. 11. 27 高校定時制美術教育の問題点・片桐節也 彫塑の指導について・木内喜雄
- 第147回 研究例会 S. 54. 12. 1 美術教育における指導計画㊦ 今後研究課題㊦
- 第148回 研究例会 S. 55. 1. 26 ・肢体不自由児の絵画表現・星野日郎 高校における想像画の指導・松岡征士
- 第149回 研究例会 S. 55. 2. 23 (京都公会館) 幼児教育学科における工芸教育・青山泰
中学生の工芸指導・平岡 潤
- 第150回 研究例会 S. 55. 3. 27 見学、
京都市考古資料館、北村徳斎文羅研究所
- 第151回 研究例会 S. 55. 5. 17 表現とイメージ・高瀬善明
- 第152回 研究例会 S. 55. 8. 22 (京都公会館) 音楽教育の諸問題・中原昭哉 美術教育の諸問題・川村善之 音楽教育と美術教育㊦
- 第153回 研究例会 S. 55. 9. 20 (伏見玉家) 高校工芸の教科性・小西賢次 想像力と美術教育・池田一良
- 第154回 研究例会 S. 55. 10. 18 (京都ソニービデオセンター) ビデオ教材の利用・上羽雅夫 幼児の造形・前川秀治 視聴覚機器見学
- 第155回 研究例会 S. 55. 11. 22 (京都東山会館) 高校美術における絵画の授業・杉浦和利 鑑賞教育から表現活動へ・谷口 侃
- 第156回 研究例会 S. 56. 1. 31 (大阪私学教会館) 個性と知・愛・想像力・中谷健三 大阪高芸高校の美術教育・高浜 椋
- 第157回 研究例会 S. 56. 2. 28 (京都東山会館) 美術を通して私は・勝田幸男
一版多色刷版画の指導から・浜田つた子
- 第158回 研究例会 S. 56. 3. 26 見学、
長田工房の巨大仏像鑄造、伝統民芸「嵯峨面」工房、府立嵯峨野高校美術・工芸施設
- 第159回 研究例会 S. 56. 5. 16 (京都東山会館) 技術感覚教育について・笠置誠三
物語絵とイメージーション・平岡 潤
- 第160回 研究例会 S. 56. 6. 20 中学校の美術教育と、教員養成課程の諸問題・泉地道子
想像力と美術教育㊦
- 第161回 研究例会 S. 56. 8. 21 (西宮市公民館) アメリカの美術教育・藤本敬八郎
素材とモチーフ・佐藤淑子
- 第162回 研究例会 S. 56. 9. 19 (大阪青少年会館) 指導上の困難点・藤原陽子 グリッド図法を利用した街の空間・鈴木八十二
- 第163回 研究例会 S. 56. 10. 17 大規模幼稚園における絵画指導の諸問題・落合峯子
現代の前衛美術と芸術教育・川村善之
- 第164回 研究例会 S. 56. 11. 21. 養護学級における音楽教師・森下修次 音楽教育と美術教育・江口善之
- 第165回 研究例会 S. 56. 12. 12 (京都私

学会館) 講演 最近の心理学・仲谷洋平
第166回 研究例会 S. 57. 1. 30 (大阪「ブ
ーン」梅田店) 幻の画家阿部合成・黒田 猛、
西村敏雄

第167回 研究例会 S. 57. 3. 25 見学、
現地研修 コロタイプ、原色版印刷、便利堂印
刷工場、オフセット、グラビア印刷、日本写真印刷、
本社工場

第168回 研究例会 S. 57. 5. 22 (高槻市
民会館) 鑑賞教育と用語の見直し・中谷健三
高校における展示・山口汎一

第169回 研究例会 S. 57. 6. 12 班学習
における木版画の制作・平岡 潤 美術鑑賞の
能力を高める契機・川村善之

テーマ別グループ研究

昭和56年度から、特定研究課題によ
る研究グループが発足した。

造形の感覚、技術教育部会

- 第1回 8月21日 (西宮市公民館)
第2回 57年4月25日 (千里丘金剛院)
第3回 6月19日～20日 (箕面帝釈寺)
部会中心研究者 笠置誠三

鑑賞教育部会

- 第1回 9月19日 (大阪、青少年会館)
第2回 10月17日 (京都芸大)
第3回 11月21日 (京都芸大)
第4回 57年4月6日 (京都芸大)
第5回 4月20日 (京都芸大)
部会中心研究者 江口善之

造形の動機部会

- 第1回 9月5日 (京都芸大)
第2回 11月7日 (嵯峨美術短大)
第3回 57年1月23日 (京都芸大)

- 第4回 3月13日 (園部公民館)
第5回 5月29日 (京都芸大)
部会中心研究者 尾関礼次郎

幼児教育部会

- 第1回 12月20日 (京都会馆)
部会中心研究者 池田一良

色彩教育部会

- 第1回 57年2月20日 (大阪郵政会館)
部会中心研究者 平岡 潤

③ 実技講習会

夏期美術実技講座

昭和39年7月30日～8月5日(毎日午前9
時より午後4時まで)

- 油画講座 30名 モデル使用制作
版画講座 15名 エッチング版画制作
陶磁器講座 30名 ろくろ・ひねり・かた・絵
つけ・らく、鑑賞
塗装講座 30名 洋塗装によるサービス盆制作、
ポリエステル加工
染織講座 30名 糊の型染、ロー染

ジंक版、版画実技講習会

- 講師・吉原英雄、舞原克典
第1回 昭和46年11月16日
第2回 昭和47年10月

陶磁器実技講習会

- 講師・八木一夫、小山喜平
昭和47年11月12日

手織実技講習会

- 講師・八木 敏、堀 寛司
昭和50年8月25日 (京都堀川会館)

海外研修旅行

- 第1回 インド、東南アジア、ボンベイ、オーランガバード、エローラ、アジャンタ、エロファンタ、デリー、アグラ、カジュラホ、ベナレス、カルカッタ、バンコク
昭和45年12月26日～46年1月6日 12日間
- 第2回 バリ島、ジャワ島、東南アジア、ジャカルタ、ジョクジャカルタ、デンパサー、バリ島、シンガポール
昭和46年8月10日～8月18日 9日間
- 第3回 地中海南ヨーロッパ、カイロ、アテネ、マドリッド、カサブランカ、ローマ、フィレンツェ、ヴェネチア、ミラノ、パリ
昭和47年7月29日～8月16日 20日間
- 第4回 インド、カルカッタ、ベナレス、カジュラホ、アグラ、デリー、ボパール、ボンベイ、オーランガバード、マドラス
昭和47年12月9日～29日 19日間
- 第5回 アムステルダム、ストックホルム、ベルゲン、コペンハーゲン、フランクフルト、ハイデルベルグ、パリ
昭和48年7月31日～8月17日 18日間
- 第6回 メキシコ、メキシコシティ、タスコ
昭和50年1月
- 第7回 オランダ、フランス、イタリア
昭和50年7月29日～8月14日 17日間
- 第8回 インド、ネパール
昭和51年12月28日～52年1月7日 11日間
- 第9回 ヨーロッパ、ギリシャ、スペイン、ドイツ、オーストリア
昭和52年7月30日～8月18日 20日間
- 第10回 ソビエト、オランダ、フランス
昭和54年7月25日～8月13日 20日間
- 第11回 アテネ、ローマ、アッシシ、シエナ、フィレンツェ、ベネチア、ミラノ、パリ
昭和57年7月24日～8月16日 24日間
(予定)

展覧会（支部主催）

- 京都双線美術展 S. 28. 6. 2～5 京都府ギャラリー（27年以前に数回あり）
- 神戸二葉会会員展 S. 28. 12 神戸市美術館
大阪双線美術展
第1回展 S. 39.
第2回展 S. 40.
第3回展 S. 41. 1.
第4回展 S. 42. 1. 9～15 大阪現代画廊
第5回展 S. 43. //
- 20人の見たインド展 S. 43. 3. 23～29 京都潮画廊
三美会展（兵庫） S. 43. 11. 19～21 兵庫県民会館
- 大阪双線美術展
第6回展 S. 44.
第7回展 S. 45. 1. 25～31 大阪現代画廊
第8回展 S. 46. 1. 25～31 //
- インド研修班展 S. 46. 3. 16～21 京都微画廊
大阪双線美術展
第9回展 S. 47. 1. 24～30 大阪現代画廊
第10回展 S. 48. 1. 29～2. 4 //
第11回展 S. 49. //
第12回展 S. 50. 1. 20～26 //
第13回展 S. 51. //
- 第14回展 S. 52. 1. 31～2. 6 大阪現代画廊
第15回展 S. 53. 2. 13～19 //
第16回展 S. 54. 1. 22～28 //
第17回展 S. 55. 2. 18～24 //
第18回展 S. 56. 1. 19～25 //
- 第1回双線美術協会展 S. 56. 6. 9～14 大阪天王寺美術館
第19回展 S. 57. 1. 18～24 大阪現代画廊
第2回双線美術協会展 S. 57. 6. 15～20 大阪天王寺美術館

2 刊 行 物

① 会誌『美』の刊行

<年刊誌『美』> 創刊号 S. 27.12.28 2号 S. 28.7.3 3号 S. 29.2.10 4号 S. 30.7.1 5号 S. 32.6.29 6号 S. 33.7.5 7号 S. 34.7.4 8号 S. 35.7.2 9号 S. 35.12.25 10号 S. 36.7.1 11号 S. 37.7.3 12号 S. 38.7.1 13号 S. 39.6.13 14号 S. 40.7.3 15号 S. 41.7.2 16号 S. 42.7.1 17号 S. 43.6.29 <年5回刊美> 1号 S. 41.2.15 2号 S. 41.4.15 3号 S. 41.8.15 4号 S. 41.10.15 5号 S. 41.12.15 6号 S. 42.2.15 7号 S. 42.4.15 8号 S. 42.8.15 9号 S. 42.10.15 10号 S. 42.12.15 11号 S. 43.4.15 12号 S. 43.6.15 13号 S. 43.10.15 14号 S. 43.12.15 15号 S. 44.2.15 16号 S. 44.4.15 17号 S. 44.6.15 <18号より年刊『美』と年5回刊『美』を統合、学術刊行物認可を受け年5回刊となる> 19号 S. 44.10.15 20号 S. 45.2.15 21号 S. 45.5.15 22号 S. 45.7.15 23号 S. 45.10.15 24号 S. 45.12.15 25号 S. 46.2.15 26号彫塑特集 S. 46.4.15 27号表現と技術(共通ガイダンス) S. 46.7.15 28号デザイン教育 S. 46.10.15 29号版画 S. 46.12.15 30号絵画 S. 47.2.15 31号素材 S. 47.5.15 32号表現と技術 S. 47.7.15 33号鑑賞 S. 47.10.15 34号映像(共通ガイダンス) S. 48.1.1 35号色彩教育 S. 48.3.1 36号工芸 S. 48.5.15 37号現代 S. 48.7.15 38号幼児教育 S. 48.9.15 39号造形の基礎教育 S. 48.12.1 40号美術教育のひかげ S. 49.2.15 41号美術教育と作品 S. 49.5.15 42号これからの美術教育 S. 49.7.15 43号美術教育とことば S. 49.10.15 44号創造性 S. 49.12.15 45号工芸教育 S. 50.2.20 46号遊びと造形 S. 50.4.20 47号美術教育におけるイメージ S. 50.6.20 48号 S. 50.10.1 49号デザインの基礎教育 S. 51.1.20 50号海外研修 S. 51.3.15 51号伝統と創造 S. 51.5.10 52号イメージと技術 S. 51.7.1 53号マンガと美術教育 S. 51.10.1 54号美術と環境 S. 51.12.1 55号日本画の基礎教育 S. 52.2.1 56号作家と

教師 S. 52.5.1 57号人間性と美術教育 S. 52.7.1 58号美術の領域 S. 52.9.20 59号美術教育の資料 S. 52.12.25 60号彫刻の基礎 S. 53.3.10 61号 S. 53.5.1 62号生活と美術教育 S. 53.7.1 63号中学校の美術教育 S. 53.9.20 64号美術教育の歴史 S. 53.12.20 65号西洋画の基礎 S. 54.3.5 66号美術教育の施設設備 S. 54.5.1 67号美術教育の指導計画 S. 54.6.30 68号世界的美術教育 S. 54.9.25 69号教育実習 S. 54.11.30 70号版画の基礎 S. 55.2.20 71号幼児の造形 S. 55.4.20 72号指導計画 S. 55.6.25 73号織と美術教育 S. 55.9.25 74号音楽教育と美術教育 S. 55.12.15 75号陶磁器の基礎 S. 56.2.20 76号美術教育と環境構成 S. 56.4.20 77号想像力と美術教育 S. 56.7.1 78号障害児美術教育 S. 56.10.1 79号指導困難な生徒の美術教育 S. 56.12.10 80号染織の基礎 S. 57.2.27 81号美術教育と部活動 S. 57.4.25 82号美術の鑑賞教育 S. 57.7.1

会誌『美』論文索引

ここに集録しましたのは、昭和27年創刊されました年刊『美』17号まで、昭和41年2月創刊の年5回刊の現行『美』82号まで、及び第22回研究大会以後の大会資料、別冊『美』34回(本年度)までに掲載されています。全論文であります。

数字は号数、旧美は年刊誌、別美は大会資料の別冊『美』を示すものです。

あ

アクラミンカラーによる染色について・中野光雄 別23
アクラミンによるステンシル・佐野猛夫 別24
アクリル絵具の特性と教材としての生かし方・松岡征士 65
阿育王石柱の牛・佐和隆研 43

う		音楽教育と美術教育特集	74
動きとデザイン・長崎盛輝	旧 3	音楽教育における創造性・中原昭哉	74
内なるリズム・堀内正和	旧 3	音楽教育について・浅井 憲	74
うどん玉の話・新井富美郎	42	音楽の早教育の現場から・新井 実	74
ウマー女神・佐和隆研	5	音楽ひとり思い・上原 卓	74
うるし・(工芸科塗装研究室)	旧 14		
え		か	
絵一伝統一と私・千谷宗一	別 28	カードウィービングの実習・住谷晴美	73
映像雑感・安田保之	48	絵画教育の基礎・金光明子	58
映像特集	34	絵画雑感・上村松篁	8
映像の教育・黒田 猛	34	絵画指導の基礎について・田中 治	55
絵をかかない子供たち・山田 弘	79	絵画指導のねらいと留意点・寺村晴雄	29
エジプト印象記・竹内幸人	33	絵画特集	30
エッチング・舞原克典	別 24	絵画と素材・山添耕治	30
絵の描けない子供・雑賀 淳	72	絵画、彫塑におけるイメージ・松岡征士	別 28
絵本について・江口善之	別 27	絵画の表現とその技術指導・鳥頭尾精一	27
エレファンタ石窟のトリムルティ像・佐和隆研	42	絵画部会アンケートについて・竹内幸人	別 23
エロスの乗る白鳥の壺・佐藤雅彦	62	海外研修と美術教育・江口善之	50
		課外活動と体育・早川清孝	81
		ガイダンスの新傾向・田中健一	旧 1
		外遊紀行・高瀬善明	5
		鶴林寺・一乗寺・浄土寺の概要・田村隆照	別 24
お		額安寺の仏像・田村隆照	別 30
王維の詩と絵・榊原吉郎	33	学校教育におけるシルクスクリーンの手法と表現	
大阪の美術教育前史・黒田 猛	41	上の問題・奥野勝治	29
大阪府高校の図画科について・黒田 猛	旧 2	学校訪問・京都藤森中学校・(編集部)	10. 11. 12. 13
岡山県美術教育の歩み・秋山利彦	旧 8	学習を通じて感じること・加藤正明	28
沖縄大会の印象・石田 勇	19	学習指導における作品評価(研究大会報告)	13
落ちこぼし生徒のためのカリキュラムの改善		学習内容と指導・石田三男	15
・碓 洋子	79	学童絵画と技術材料・須田国太郎	旧 1
おはなしの絵と導入・辻井利夫	9	カジュラーホ「愛情」・佐和隆研	旧 4
オリッサ州の仏像・佐和隆研	26	カジュラーホ寺院の壁画彫刻・佐和隆研	8
織と美術教育・荒木峯子	73	カジュラーホ寺院の女神像・佐和隆研	40
織と美術教育 特集	73	カジュラーホの女神像・佐和隆研	32
織の基礎実習について・八木 敏	80	可塑性に富んだ固形材料による造形制作・	
織物の基礎と表現・八木 敏	別 23	佐賀 賢	別 24
織物の美について・中村彦之	80	型染の基礎・中野光雄	80
音楽教育と美術教育・岡島隆男	74		
音楽教育と美術教育・桑畑健二	74		

交野に国宝、重文を訪ねて・松岡征士	別 32	基礎デザインに於ける立体観構造・村上正典	10
勝尾寺の現地研修のために・田村隆照	別 23	基礎描写力養成指導について・古橋清昭	32
カップドキアの奇岩と窟院・冬木偉沙夫	52	清方美術館を訪ねて・山下進公	20
カニシカ王の像・佐和隆研	47	教育課程改定その後の経過・川村善之	旧 7
歌舞伎に見る美しさ・大林一布	旧 3	教育課程改定とその問題点・川村善之	旧 6
紙紐による造形・野崎龍吉	旧 14	教育課程改定への一年	旧 17
紙のシェード・デザイン研	5	教育課程自主編成の一つの試み・川上靖司	25
紙ひもによる工芸品の指導・楢村睦規	旧 14	教育技術と発想導入・上田晴也	旧 16
ガラス概説・宮本 清	別 24	教育工芸における表現と技術・星野日郎	別 23
ガラス史概略・宮本 清	別 23	教育実習雑感・富山誠一	69
カリグラフィ・鈴木佳子	別 23	教育実習雑感・吉村 堯	69
環境デザインの基礎・稲田尚之、田坪良次	49	教育実習特集	69
環境論・稲田尚之	28	教育実習について・石田三男	69
環濠民家と寺内町・富山誠一	別 30	教育実習の諸問題・川村善之	69
乾漆技法による造形制作・新海 治	別 23	教科改定と美術教育・石田 勇	47
鑑賞教育 — 共同討議	旧 14	教材、教具について・松岡征士	別 25
鑑賞教育と用語・中谷健三	別 34	教材としての紙の型染めについて・西浦利一	18
鑑賞教育の基礎・江口善之	33	教職志望の動機と教育実習・仲谷洋平	69
鑑賞教育・江口善之	82	京都画壇の歴史・河北倫明	25
鑑賞教育のこと・青山政吉	33	京都芸大共通ガイダンス実技教育について・	
鑑賞教育の問題点・川村善之	旧 14	高井一郎	39
鑑賞指導のありかた・楢村睦規	29	京都芸大の共通基礎教育・森本岩雄	39
鑑賞と鑑賞教育・荒木賢治	8	京都芸大版画の歩み(’62—’79)・舞原克典	70
鑑賞特集	33	京都芸大美術学部入試問題 47年度(実技)	31
鑑賞について雑感・黒津康明	33	”	48年度 ” 36
鑑賞部会資料・太田 茂	別 23	”	49年度 ” 41
観心寺と金剛寺・孝恩寺の仏像・田村隆照	別 33	”	50年度 ” 46
感性的な絵と知性的な絵・渋川 轟	別 26	”	51年度 ” 51
感動は創造である・熊田誠司	25	”	52年度 ” 56
ガンダーラの苦行釈迦像・佐和隆研	3	”	53年度 ” 61
ガンダーラ釈迦如来座像・佐和隆研	14	”	54年度 ” 66
ガントナー「ロダンとミケランジェロ」を読んで		”	55年度 ” 72
・江口善之	26	”	56年度 ” 76
鑑賞雑感・大串佐知子	82	京都市における中学校美術教育・大原清	旧 17
き		京都市立芸術大学新学舎について・稲田尚之	76
技術科をめぐって・田中健一	旧 6	京都私立高校美術部連合会の活動・	
技術指導の再認識について・熊田誠司	旧 1	堀 寛司・秋田直躬・浜田純二	81
木津川べりの仏たち・富山誠一	別 29	京都における民主美術運動・大原 清	別 23

京都に「教育美術館」を・大原 清	別 24	芸大の織・八木 敏	73
京都美大インドネシア美術総合調査団報告・ 榎原吉郎	9	芸大の織・松原 緑	73
今日の美術教育の課題と郷土文化・大原 清	37	芸大版画学生作品特集	70
京博特別展をみて・倉元英一、上野七郎、 宮崎実仁	5	芸大版画教室カリキュラム・舞原克典	29
ギリシャ彫刻とヴィナス像・上平 貢	旧 14	毛虫を飼育して造形する・黒田 猛	別 25
近代建築の動揺・向井正也	旧 4	研究課題「評価」の設定について・野崎龍吉	別 22
近代名画展をみて・富山誠一	6	研究大会、大学部会記録	24
		研究大会、中学部会、高校部会記録	23
		ケント紙による人間・デザイン研	3
		原始の眼・堀内正和	旧 1
く		現行中学校美術教科書の問題点・竹中 保	59
クセルクセスの門・山崎 脩	53	現代学生の発想形体について・足立真三	別 32
樺野寺と善水寺のほとけ・田村隆照	別 31	現代芸術は何故現代的か・石田 正	37
グッドデザインについて・我妻 栄	旧 13	現代社会と美術教育 抽象美術について	
グブタ時代の仏像・佐和隆研	1	梶野あきら	14
クラフトテープによる工芸授業・西浦利一	旧 14	現代性の一面・竹内幸人	別 25
クラフトと取り組むにあたって・小山喜平	75	現代彫刻・堀内正和	旧 10
繰り返しから生まれるイメージ・中野光雄	47	現代彫刻について・辻 晋堂	旧 2
クロッキーの評価と諸検査の考察・上田晴也	別 22	「現代」特集	37
		現代版画・美大西洋画科版画教室	旧 15
クロワゾネー・デザイン研	4	現代美術教育論・木内喜雄	31
クンツツの水壺・近藤 豊	72	現代美術と美術教育・木村重信	24
		現代美術の動向と高校美術教育・高瀬善明	17
け			
芸術の危機と美術教育の危機・岡島隆男	48	こ	
芸術の領域について・岩城見一	58	工芸及び工作教育について・佐和、渡辺	旧 6
芸大1回生共通ガイダンス作品特集	27. 34. 39	工芸ガイダンス(染織)・三浦景雄	45
芸大1回生工芸ガイダンス学生作品特集	45	工芸ガイダンス(陶磁器)・藤平 伸	45
芸大改革案と入試方法の改定	23	工芸ガイダンス塗装実習・望月重延	45
芸大西洋画学生作品特集	65	工芸教育、特集	36. 45
芸大染織基礎学生作品特集	80	工芸教育と本校の陶芸学習・吉川幸直	45
芸大デザイン基礎学生作品特集	49	工芸教育における素材と技法・倉元英一	28
芸大彫刻基礎学生作品特集	60	工芸教育について・秋山利彦	36
芸大陶磁器学生作品特集	75	工芸教育について・(研究部)	18
芸大陶磁器専攻に於ける「陶芸3」の実技内容・ 甲本 明	67	工芸教育についてのアンケート・上田晴也	別 23
芸大陶磁器の設備について・小山喜平	66	工作教育についての一考察・金川明治	旧 3
芸大日本画学生作品特集	55	工芸教育の諸問題・(研究大会記録)	20

作家と教師・近藤 豊	56	漆工学生作品特集	旧 14
作家と教師・野村 耕	56	実習生と指導教官へのアンケート調査	69
作家と教師・木村嘉子	56	実践報告「手」・駒井達子	4
作家と教師・三宅いつ子	56	室内装飾基礎実習の考察・寺石正作	80
作家と教師・室田 武	56	指導計画特集	72
作家と教師・坂手得二	56	指導計画の作成について・泉地道子	別 31
作家と教師の問題について・後藤直正	24	指導困難な生徒について・森下佳都子	79
作品評価のあり方・平岡 潤	別 22	指導困難な生徒の美術教育特集	79
3才児きりがみ・はりえ・黒田 猛	別 24	自閉症児絵画教室について・山田太郎	79
サント・マルガレーテ国際シンポジウム報告		自閉症児の開けの場・金沢大士	78
・庄司 達 他	26	社会科からみた美術教育・岡本午一	旧 3
		ジャガヤペッタの浮彫像・佐和隆研	33
し		写真映像の本質・アーネスト・サトウ	34
シヴァとその妃パールヴァティ・佐和隆研	17	障害児の多様性について・仲谷洋平	78
滋賀県高校美術教育の実状・梶村睦親	旧 8	障害児の造形教育・星野日郎	61
滋賀県中学校美術教育の実情・梶村睦親	旧 8	障害児美術教育特集	78
信楽と陶芸、デザイン教育・近野 久、疋田孝夫	18	小学校児童の絵本の興味調査・金光明子	別 27
		小学校図画工作の指導計画・雑賀 淳	別 31
色彩感覚とデザイン・中川寿一	旧 4	小学校低学年での指導一話かけー・吉田美智子	43
色彩教育用基本色の改変について・長崎盛輝	旧 2	小学校における鑑賞教育・金山良一	33
色彩と環境・白子修二郎	旧 1	小学校におけるデザイン教育について・前田鉄子	旧 9
色彩の表情・長崎盛輝	35		
色彩教育特集	35	小学校における発想・表現の男女差と問題点・大東純子	別 25
色彩教育の問題点・平岡 潤	別 23	小学校入学当初の絵の指導・尾関礼次郎	別 25
色彩による平面構成ー 18 回大会第 1 分科会・辻井利夫	3	正月堂本尊十一面観音菩薩の周辺・田村隆照	別 29
色盲色弱生徒と色彩教育・川村善之	旧 4	焼成の基礎・石田有作	75
紙魚の戯・石村忠次	旧 2	書教育と作品・岡本憲一郎	41
4. 5. 6 年の 3 ケ年フルコース・山根留美子	72	住空間の創造・田坪良次	44
獅子窟寺薬師如来座像・田村隆照	別 32	10 年間の糸の長さ・小林正和	73
獅子座に跌座する仏・桑山正進	67	呪術と技術・吉田光邦	27
思春期の自我形成・仲谷洋平	63	商業デザイン実習と技術指導・温井源喜	別 24
施設、設備の調査を通じて・山下 毅	別 31	職業高校における陶磁器教育・佃 秀実	75
自然の色再現の難しさ・上羽雅夫	35	商業高校における美術教育・後藤直正	旧 7
自然の中で・上村松篁	旧 1	情報社会と美術教育・榊原吉郎	61
時代環境を超越する美術教育・中谷健三	54	情報化社会における指導ー 伝達・竹中 保	別 29
漆喰壁に描く・大河内久男	58		
漆芸の展開・冬木偉沙夫	31		

情報化社会における指導、例・デッサン・ 竹中 保	55	世界クラフト会議（WCC）について・藤崎 誠	62
資料について・鈴木佳子	59	「世界の絵本」展示について・江口善之 別	26
資料と美術教育と・河本 昭	59	世界の美術教育特集	68
シルクスクリーンの基礎・田中 孝	70	石膏じかづけレリーフ・藤本敬八郎	7
シルクスクリーンの指導・藤原陽子	37	石版画の基礎・吉原英雄	70
「深淵」インドへの旅・駒井達子	旧 17	石版画（リトグラフ）・吉原英雄	別 23
人格形成における芸術教育・山松質文	旧 1	瀬戸窯高における工芸デザイン・佃 秀実	36
進行性筋ジストロフィー症児と共に・森脇 勤	78	1970 図工美術研究大会評価分科会・渋川 別	22
新単元「配置配合」について・柴田 穰	旧 1	全国高校美術工芸代表者会議（京都會議）報告	14
す		染織学生作品特集	旧 12
すえ器覚書・藤平 伸	36	染色実験について・西嶋武司	80
せ		染織という部門について・佐野猛夫	6
西欧の美術の旅・江口善之	48	染織について・佐野猛夫	旧 12
生活適用の美術・清田雄司	旧 7	染織の基礎特集	80
生活と工芸・新海 治	62	染織の基礎・長艸 晃	80
生活と美術教育・今川康寛	62	染織の基礎教育・三浦景生	80
生活と美術教育特集	62	染織の基礎教育について・青野卓司	80
生活美術の意味・佐和隆研	旧 3	辿織夢物語・堀克 司	45. 73
生活文化について・吉田光邦、元井 能	11. 12	全造連秋田大会に参加して・渋川 轟	24
制作が困難な生徒の指導・遠藤師夫	79	専門教育での造形性の実態・泉地道子	別 25
生徒作品指導例・小豆島良耳	61	そ	
生徒の気持をとり入れて・田中佐奇子	58	造形基礎・足立真三	49
生徒の全面発達のためによりよい評価の実現へ・ 清田雄司	22	造形基礎能力をどう育てるか・渋川 轟	旧 15
青年期・その芸術教育・林 正明	旧 16	造形教育雑評・藤本敬八郎	旧 14
西都市民会館「ドンチョウ」デザインについて・ 黒木 亮	旧 13	造形実験・宮下善爾	75
西洋画基礎カリキュラムの推移・大串佐知子	65	造形諸能力の相関・川村善之	別 32
西洋画の基礎教育とは・編集部	65	造形と遊ぶあるいは気まぐれ・松井亮造	46
西洋画の基礎特集	65	造形と心理学の接点・仲谷洋平	28
西洋画の基礎課程について・森本岩雄	65	造形と素材・堀内正和	31
西洋画の基礎教育・真野岩夫	65	造形能力についての調査研究・仲谷洋平、城貞男	15. 16
西洋画の指導・今井憲一	30	造形の基礎教育 特集	39
セイロン・ポロンナルワ最大の仏像・佐和隆研	30	造形の基礎教育雑感・山口汎一	39
		「造形の基礎」教育について・加藤正明	39

造型の展開・鈴木 治	75	第1～4回研究例会記録・(研究部)	1
造形面より美術教育の実情をさぐる・平岡 潤	別25	第4、5回研究例会記録・(研究部)	2
ソヴェトの美術教育・雑賀 淳	68	第6回研究例会記録・(研究部)	旧15
訪中記・新井富美郎	68	第9回研究例会記録・(研究部)	4
装飾実験について・藤平 伸	75	第9、10研究例会記録・(研究部)	6
装飾の基礎・近藤 豊	75	第10～12研究例会記録・(研究部)	7
創造主義美術教育遵守の幣・阿部佳男	44	大国寺の仏像・田村隆照	別25
創造性 特集	44	醍醐寺と法界寺・佐和隆研	旧4
創造性を育てるイメージ表現・池田一良	29	タキシラの仏頭・佐和隆研	20
創造性を育てる条件・金沢大士	44	竹の平面構成・高橋文雄	31
創造性を育てる美術教育・今川康寛	44	戯れる童児またはクビードー・潮江宏三	73
創造性を求めて・小川英夫	44	短大生の生徒作品鑑賞について・鈴木正教	21
創造的発想を育成する美術教育・高瀬善明	32	タントラ美術の表現・秋野不矩	32
創造の過程・安田保之	別32	丹波篠山・富山誠一	別25
創造のための発想、導入 第19回大会	8	丹波焼の歴史	別25
創造力、想像力と美術教育・近藤勝彦	別33	断絶の時代の芸術教育・黒田 猛	17
想像力と教師の役割・明星新二	別33		
想像力と美術教育 特集	77	ち	
想像力と美術教育・岩木和夫	77	竹工作品・デザイン研	1
素材特集	31	遅進児における表現と技術について・三品末雄	27
素材の基礎・大西政太郎	75	地方高校の美術教育・高林 泰	旧8
それ故美しい・長野誠之助	旧2	地方における鑑賞指導の実状・川口健治	33
		チャウカンディ墓石のイスラム文様・冬木偉沙夫	66
た		中学校教育課程移行年度に入って・川村善之	旧8
第3回美術教育研究会報告	旧3	中学校での美術指導・上田歌子	63
第9回美術教育研究会報告・(編集部)	旧6	中学校と高校の美術教育・廣 靖彦	63
第12回美術教育研究大会・各部会記録・(編集部)	旧9	中学校における指導計画について・平岡 潤	67
第13回研究大会記録・(編集部)	旧11	中学校における創造表現指導・梶村睦親	旧4
第14回研究大会記録・(編集部)	旧12	中学校における版画学習・上田晴也	旧15
第16回研究大会報告・(編集部)	旧14	中学校における版画指導・堀内桂子	70
第17回研究大会報告・(編集部)	2	中学校における美術教育と指導計画について・宮田啓子	72
第18回研究大会報告・(編集部)	3	中学生の彩色指導について・平岡 潤	35
第19回研究大会記録・(編集部)	8	中学校の美術教育・長谷田三保子	63
第20回大会を迎えて・白岩恍三郎	旧17	中学校の美術教育 特集	63
第23回研究大会報告	28	中学校の美術教育と資料・辻本洋子	59
第26回研究大会について	41		

中学校の鑑賞教育・辻本洋子	82	定時制における美術教育・久保田秀弥	40
中学校美術科の諸問題・倉元英一	別26	定時制美術教育の現状と問題点・泉地道子	40
中学校美術・指導上の困難点・藤原陽子	80	ディディムのメドゥサ・田村隆照	54
中学校美術の問題点・編集部	63	デザインを決定する条件・上野伊三郎	旧6
中学生の鑑賞能力・堀内桂子、佐貫みち子	別34	デザイン学習の一例・中川寿一	旧7
中学美術科審議会答申の問題点・松田高治	13	デザイン学習の実践・竹内幸人	61
中国官史の微笑・片桐節也	74	デザイン学習の方向づけ・三郎節子他	旧9
中国絵画鑑賞のすすめ・曾布川 寛	82	デザイン学生作品 特集	旧6
抽象造形と美術教育 特集	旧5	デザイン教育雑感・向井正也	旧8
抽象造形の指導について・堀内正和他	旧5	デザイン教育 特集	28
抽象彫刻・堀内正和	旧5	デザイン教育についての考察・勝見成太郎	28
抽象表現の指導について・仲谷洋平	旧5	デザイン教育について・中村隆一	81
抽象立体の指導・黒川博行	60	デザイン教育には立体的な指導を・渋川 轟	1
彫刻科のカリキュラム・上川弘明	60	デザイン教育の問題点 14 回大会討議	旧12
彫刻基礎とカリキュラムについて・佐野 賢	60	デザイン教育の問題点・雲林院太郎	28
彫塑教育について・田中 治	26	デザインコースにおける諸設備について・	
超現実表現の技術指導・中西和夫	別24	平田自一	66
彫刻の基礎 特集	60	デザインの絵画と絵画的デザイン・安田保之	別28
彫刻の基礎・山本格二	60	デザインの基礎学習・上羽雅夫、松本良一	旧7
彫塑教育雑感・藤本敬八郎	26	デザインの基礎教育 特集	49
彫塑指導資料・江口善之	別23	デザインの基礎教育・(芸大デザイン研究室)	49
彫塑指導の夢と現実・田中 治	60	デザインの技術指導・青山 泰	別23
彫塑指導法についての一考察・西村敏雄	60	テスト・ドゥルルーアンの絵画評価・江口善之	別22
彫塑特集	26		
彫塑における共同学習の一例・川久保健三	26	鉄格子の中での美術教育・高橋文雄	54
長岳寺阿弥陀三尊と井戸堂十一面・下永地藏菩薩		鉄 一 鋳造による彫刻・野崎一良	52
を中心に・田村隆照	別34	手作りの機械を使った工芸教育・寺山芳治	73
		デュッサンの意味と変遷・森本岩雄	51
つ		デトランプ技法の紹介・小倉和喜	52
通信制の美術教育・渡部敏雄	40	手わざの意味・藤崎 誠	63
図工科における製図の取扱い・白子修二郎	旧4	テレビと美術教育・勝見成太郎	別27
図工科の諸問題・教育学研究室	旧3	展覧会について・藤原和正	81
図工教育現場報告・(編集部)	旧2	天理参考館と天理周辺の古仏を訪ねて・松岡征士	別34
図工教育将来のために・中岡広一	旧3		
図工教育のメモから・北野しげとし	30	伝統と創造 特集	51
		伝統と創造のかかわりについて・野崎竜吉	51
て		伝統と創造・現場の体験から・林 正明	51
定時制とデザイン教育・青山 泰	40		

と		日本工芸の特色・元井 能	旧 13
ドイツの教育と美術教育・ラインハルト・フリッケ	17	日本の伝統と美術教育・満岡忠成	旧 13
陶磁器学生作品 特集	旧 13	人間を描く・永井逄一	62
陶磁器基礎実技について・甲本 明	75	人間を描く・中村善種	62
陶磁器特集について・(陶磁器研究室)	旧 13	人間をえがく・野崎龍吉	62
陶磁器の基礎 特集	75	人間をテーマにしたの学習展開・野崎龍吉	16
陶磁器の基礎教育について・藤平 伸	75	人間回復と美術教育・川村善之	79
陶磁器に於ける量産の基礎とその実習について・勝野博邦	75	人間形成と美術教育・松崎 守	57
陶磁の美・谷田閑次	旧 4	人間性と美術教育・鱒坂二夫	58
東塔から西塔へ・富山誠一	別 28	人間性と美術教育・中西和夫	57
東南アジア写生旅行・谷口 侃	4	人間性と美術教育・土肥通春	別 29
灯油窯について・山本茂兵衛	18	人間性と美術教育・中田 誠	57
銅版画の基礎・舞原克典	70	人間性と美術教育・森 文男	57
道明寺と葛井寺の観音像・田村隆照	別 27	人間性の構造・金沢大士	57
都市景観の裏・表・真野岩夫	54	認識と創造・石田 正、他(ゼミ記録)	10
トルコの遺跡・田村隆照	77	は	
な		バーミヤーン大仏の衣文・田村隆照	64
ナーガルジュニコンダの彫刻・佐和隆研	25	バーミヤーンの大石仏・八木一夫	51
ナーランダの遺蹟・佐和隆研	16	パールハットの彫刻・佐和隆研	31
奈良県高校美術教育研究会の歩み・城、愛久沢	旧 8	パールハット欄楯の女神像・佐和隆研	36
		パウハウスの予備課程・渡辺 真	67
		はじめてのえのぐ・奥美佐子	別 33
		発達段階とその原理・仲谷洋平	72
		発想について・堀内正和	4
		発想の転換・梅原 猛	39
		パッケージデザインにおける導入・寺村晴雄	
に			旧 16
西ドイツ造形大学におけるデザイン教育・津田辰治	68	鳩笛を作る 一音のイメージ・森川 修	77
日本画基礎のカリキュラムについて・木下 章	55	パトナ博物館の女神像・佐和隆研	10
日本画基礎・模写・岩井 弘	55	張り子の制作・浜田つた子	36
日本画基礎描写の流れ・大野秀隆	55	バルセロナの夜間学校・山添耕治	68
日本画における伝統・小野竹喬	51	版画学生作品 特集	旧 15
日本画の基礎教育 特集	55	版画指導のありかた・富田 克	29
日本画の基礎・上原 卓	55	版画指導の諸問題・(版画部会)	29
日本画の技法・上村 淳	22	版画特集	29
日本画の表現について・野村 耕	32	版画の基礎 特集	70
日本現代美術論・河北倫明	19	版画の基礎・吉原英雄	70

版画の状況・吉原英雄	29	美術教育と環境・古久保三郎	54
版画の表現指導・愛久沢 勇他	旧9	美術教育と環境構成特集	76
版画部会資料・林 正明	別23	美術教育と環境構成・三木信一	76
万国博美術展のみどころ・富永惣一	23	美術教育と環境構成・永井逕一	76
		美術教育とことば・榎原吉郎	43
		美術教育とことば 特集	43
		美術教育とクラブ活動・平岡達子	81
		美術教育と子どものイメージ・雑賀 淳	47
		美術教育と作品・坪田 堯	41
		美術教育と人格・高梨栄作	64
		美術教育と統計教育について・田中明正	24
		美術教育と道徳教育・大原 清他	旧9
		美術教育と評価の問題・鍵野 馨	20
		美術教育と部活動 特集	81
		美術教育におけるイメージ・坂手得二	47
		美術教育におけるイメージ 特集	47
		美術教育に於ける映像の試み・松岡征士	34
		美術教育における鑑賞指導・佐和隆研	旧2
		美術教育に於ける基礎学習の計画・村上正典	67
		美術教育における現代性と地域性・鳥取政昭	37
		美術教育における現代性や地域性・長田善史	37
		美術教育における創造性の問題と一般教育・	
		松田良介	44
		美術教育における陶芸・内海登郎	75
		美術教育における評価・鶴崎熊太	22
		美術教育における評価・(安田 謙、他)	22
		美術教育における評価の問題点・仲谷洋平	21
		美術教育における表現と技術・川村善之	32
		美術教育における表現と技術・川村善之	別23
		美術教育における表現と技術・青山政吉	27
		美術教育の意義・佐和隆研	旧1
		美術教育の一環としての色彩教育・平岡 潤	28
		美術教育の意味・梅原 猛	57
		美術教育の危機・平岡 潤	48
		美術教育の教科構造と領域・川村善之	61
		美術教育の現況・竹内幸人	旧8
		美術教育の現状と問題点・江口善之	別25
		美術教育の施設設備 特集	66
版画の状況・吉原英雄	29		
版画の表現指導・愛久沢 勇他	旧9		
版画部会資料・林 正明	別23		
万国博美術展のみどころ・富永惣一	23		
ひ			
秘境から・八木一夫	44		
『美』50号のあゆみ・(編集部)	50		
美大工芸学生作品 特集	18		
ヒットの戦士達・冬木偉沙夫	79		
ひとつのささやかな試み・吉村 堯	36		
ビジュアルデザインの基礎・平田自一	49		
美術科指導案の一例・鳥取正昭	67		
美術科指導内容の一考察・石田三男	4		
美術科時数確保と教育条件の充実・松岡征士	別24		
美術科と指導計画・宮川 実	72		
美術科におけるプログラム学習・雑賀 淳	6		
美術科年間指導計画・松元雅夫	別32		
美術科年間指導計画・長谷田三保子	別31		
美術科の弾力の指導について・宮川 実	30		
美術鑑賞能力を向上させる契機・川村善之	別34		
美術館における美術教育について・清水純一郎	76		
美術教育を振りかえって・鳥頭尾 精	72		
美術教育機関としての美術館・江口善之	69		
美術教育雑感・竹内幸人	42		
美術教育私考・北里桂一	別26		
美術教育私見・金川明治	旧1		
美術教育(図工科)における年間計画・今川康寛	67		
美術教育とイメージ・川村善之	52		
美術教育とイメージ・池田一良	別28		
美術教育と環境・杉浦和利	54		
美術教育と環境・駒井達子	54		
美術教育と環境・佐藤武郎	54		
美術教育と環境・谷口武史	54		
美術教育と環境・新町真策	54		

へ	
平面材による立体構成 18 回大会第 2 分科会・ 安土 優	3
平面造形と表現と技術・竹内幸人	別 24
ベグラーム出土象牙彫刻・田村隆照	57
へゴ(板)づくりの楽焼・千谷宗一	45
ベルサイユ・川端弥之助	旧 3
ペルシャの先史土器・小山喜平	7
ペルセポリスの石彫人面・冬木偉沙夫	61
ペルセポリス、レリーフ未完部分・山崎 脩	63

ほ	
保育園と幼稚園の相異と問題点・池田一良	38
保育系教員母養成校の造形指導・黒田 猛	38
保育系短大の環境構成と共同製作・黒田 猛、 小林 等、小川恵三	76
保育目標と幼児画の評価・池田一良	71
墨色と墨と絵画と書と水墨画と・下店静市	旧 4
墨色など・富山誠一	35
乾される水壺・八木一夫	58
ぼたん・金尾音美	旧 2
ポロブドウの仏頭・佐和隆研	38
本会 10 年の歩みを振り返りみて・(編集部)	旧 10
本学 90 年史の意味するもの・佐和隆研	25
本校のデザイン教育・黒津康明	28

ま	
マズジットジャミのタイル文様・中野光雄	68
マハーバリプラムの石柱彫刻・佐和隆研	29
マトウラ釈迦如来座像・佐和隆研	2
マンガを課目として 4 年の記・ ・ヨシトミヤスオ	53
漫画雑誌とその現状・松岡征士	53
マンガと美術教育 特集	53
マンガと美術教育・尾関礼二郎	53
マンガと美術教育・平田自一	53
漫画と美術教育・黒津康明	53
漫画について・榊原吉郎	53

み	
「見える」ことについて・鶴田憲次	77
右手と左手の間で・舞原克典	48
ミトウナ像、アジアンター石窟・佐和隆研	11
見直しの造形教育・黒田 猛	63
南インドの女神・佐和隆研	24
南河内、和泉の古仏を訪ねて・松岡征士	別 33
見ること、見えるもの・関根勢之助	37
弥勒菩薩像・(芸術学研究室)	旧 2
ミロ展をみて・今川康寛	5
ミロ同行記・亀田正雄	5

め	
名作展所感・上村松篁	旧 3
「名画を見る眼」を読んで・榊原吉郎	24
名作展鑑賞記録・幸野豊一	旧 3
メキシコの壁画・妹背平三	48

も	
盲学校と美術教育・宮崎又行	78
盲学校における美術教育・宮崎又行	別 31
木工芸・藤崎 誠	別 23
木製組立玩具・デザイン研	2
木版画の基礎技法・辻 浩	70
木版画の指導・松田高治	29
木版画の実践・鳴坂 旭	34
木版多色刷り年賀状・小島正武	旧 15
模写雑感・林 司馬	30
文字の造形性・中田勇次郎	21
モニュメント一考・小清水 漸	76
ものの形を教えるということ・山崎 脩	26
モヘンジョダロの日乾れんが・山崎 脩	78

や	
薬又女神酔態の像・佐和隆研	23

ゆ	
豊かな遊び・斉藤正親	19

よ

養護学校における陶芸・平井基子	別 33
養護学校の指導計画について・河瀬桂子	別 31
養護学級の美術を担当して・上田歌子	40
養護教育としての美術教育の在り方・金沢大士	40
養護教育と美術・山田清貴	78
養護教育について・加藤いく子	別 32
養護教育部会報告・川嶋園子	80
幼児教育学科の美術教育・上田晴也	71
幼児教育学科における指導・安土 優	56
幼児教育への提案・黒田 猛	別 26
幼児教育 特集	38
幼児造形教育と V T R・前川秀治	別 32
幼児と共に・荒谷由美子	71
幼児の絵にみる蹉跎の一考察・桜井貞夫	79
幼児の心理と教育・仲谷洋平	38
幼児の世界像と造形の連関・金沢大士	71
幼児の造形 特集	71
幼児の造形活動における導入・大野幹彦	旧 16
「幼児の造形」について・岩城見一	71
幼児の美術教育・土肥通春	30. 38
幼児部会資料・池田一良	別 23
幼稚園に於ける美術教育に関する問題・橋村栄運	38
幼児画の指導・内藤英治、文上文生、長谷益子	38
幼稚園の指導計画・土肥通春	別 32
ヨーロッパ紀行・松田与一	4
ヨーロッパ諸国の美術大学におけるデザイン教育の概要・長崎盛輝	旧 11
ヨーロッパの印象・谷口 侃	20
ヨーロッパ四千軒・柴田 穰	4
40の柱の宮殿、壁画・山崎 脩	59

ら

ラトナギリの観音立像・佐和隆研	41
ラトナギリ一仏殿入口の彫刻・佐和隆研	37
ラトナギリの菩薩像・佐和隆研	6

り

リチエオ・アルティシコ訪問・桜井晨正	68
立体造形について・倉元英一	別 24
リビングデザインへの導き・古川義行	旧 8
量材による立体構成 18回大会第3分科会・ 駒井達子	3
量産研究について・志村光広	80
「理論の立場から」・潮江宏三	48

る

ルオー断想・木村重信	旧 3
------------	-----

れ

レンブラントとモヂリアニ・今泉篤男	13
-------------------	----

ろ

ろう教育への一視点・水口留美	78
蠟染の基礎・来野月乙	80
ロケーシュバラ立像・佐和隆研	35
ロマネスクの柱頭装飾・中井貞次	71
ロダン展をみて・山田 弘、三宅いつ子、 高橋文雄、新井富美郎	4

わ

わが校の鑑賞教育・松下邦夫	33
わが校の美術部・伊原市十郎	19
私と作品・上田弘明	41
私のイラストレーション指導・楢村睦親	別 27
私の献立表・永井逕一	30
私の指導計画・菱本光一郎	別 31
私の人生論・鷹阪竜夫	62
私の制作のイメージ・石本 正	52
私の美術教育・小西 寿	42
私の美術教育・鈴木 博	7
私の美術教育 30年・不動茂弥	64
私の美術教室・渡辺信正	旧 11

② 現代の美術教育

昭和 53 年 7 月 1 日、第 30 回研究大会を記念して刊行。執筆本会会員 48 名。本会編発行。B 5 版 242 頁。定価 2,000 円。

③ 美術鑑賞教育資料、同教師用指導書

日本と西洋の美術 A5 版 64 頁
昭和 29 年 6 月 1 日 都出版社
美術の世界 鑑賞と歴史 A5 版 58 頁
昭和 30 年 10 月 1 日 秀学社
同教師用指導書
美術 日本編 B5 版 32 頁 カラー 1 頁
美術 西洋編 B5 版 32 頁 カラー 1 頁
同各教師用指導書
昭和 33 年 1 月 15 日
美術の世界(分類版) A5 版 58 頁
同教師用指導書
昭和 36 年 4 月 1 日 秀学社
中学生の日本美術 スキュラ版 40 頁
中学生の西洋美術 " " 秀学社
同教師用指導書 "
昭和 37 年 4 月 1 日
日本美術 スキュラ版 40 頁(内カラー 16 頁)
西洋美術 " " "
同教師用指導書 秀学社
昭和 38 年 4 月 1 日
時代別 美術の世界 日本編 スキュラ版 40 頁
カラー 16 頁
時代別 美術の世界 西洋編 "
同各教師用指導書
昭和 40 年 4 月 1 日 秀学社
時代別 日本美術の鑑賞 B5 版 44 頁
(カラー 20 頁)
時代別 西洋美術の鑑賞 B5 版 44 頁
(カラー 20 頁)
同各教師用指導書

昭和 44 年 4 月 1 日 秀学社
新しい美術鑑賞 日本編 B5 版 56 頁 カラー 40 頁
新しい美術鑑賞 西洋編 B5 版 56 頁 カラー 40 頁
カラー版 日本・西洋 美術の世界 B5 版 64 頁
(全頁カラー)

同、各教師用指導書

昭和 48 年 4 月 1 日 秀学社
新しい美術鑑賞 日本編 B5 版 64 頁 全カラー刷
新しい美術鑑賞 西洋編 B5 版 64 頁 全カラー刷
新しい日本・西洋、美術の世界 B5 版 96 頁
全カラー刷

同、各教師用指導書

昭和 56 年 4 月 1 日 秀学社

3. 美術教育関係図書、資料の蒐集

経 過

昭和 39 年 12 月 2 日、役員会で、「美術教育資料室」の設置を決定。

当分は大教職研究室を借り、書棚一つから出発。先づ小学校から大学までの各校種、全国各地にわたる 600 名(当時)の会員からの文献寄贈を募る。

美術教育関係の図書、雑誌、写真資料の他、プリントなどのバラ資料や、作品等の実物標本も研究に役立つものをできるだけ多く蒐集整備して永久保存し、これを常時研究に役立てるようにする。

昭和 44 年 12 月、蒐集した蔵書は約 3,500 となり、常任委員会で、分類、登録、管理等の方法を決める。

昭和 45 年 1 月 3 日、芸大南学舎火災により、当学舎 2 階にあった教職課程研究室も全焼し、資料室図書盡く失う。

昭和 45 年 4 月 20 日、役員会で資料室再建の方針を決め、以後会報、会誌、研究集会毎に会員に協力を要請、また図書購入のための予算も年々

増額し整備につとめた。

昭和 45 年 8 月、図書資料分類について、次のような本会資料室独自の形式を定める。

- A 図書
- B 印刷物資料（研究発表のガリ版刷りプリントなど、図書の体裁をもたぬもの）
- C 実物資料、生徒作品（研究的実践による作品）
- D 実物資料、教材、教具資料（鑑賞資料、写真資料を含む、模型、掛図等）
- E スライド、映画フィルム
- F その他

これらの諸資料は、会員の随時利用の便をはかり、分類、整理して管理する。その方法を下記のとおり定める。

1. 図書については、日本十進分類法(NDC)による。

美術教育関係図書は 3757 と 707 の二系統に分れるため、ここでは 707 に統一することとする。707 を A 記号に置きかえる。

2. A 記号の内訳は、下の通りである。

A0 美術教育一般

1. 美術教育、原理、思潮、美術教育史
2. カリキュラム（目標、内容、評価）
3. 絵画、版画教育、書教育
4. 彫塑教育
5. デザイン教育、色彩教育
6. 工芸教育（工作、製図を含む）
7. 鑑賞教育（美術品の鑑定および審査、鑑賞法、図録を含む）
8. 専門教育
9. 幼児教育、特殊教育

A1 法規、美術教育関係法規、学習指導要領

A2 教科書、指導書

A3 副読本、学習参考書（生徒の利用する図書）（教室で使用されているもの）

A4

A5 逐次刊行物、雑誌

A6 問題集、受験学習参考書（生徒の利用するもの）

A7 指導資料

A8 論集、集録、作品集

3. A 記号、707 以外のものについては、すべて日本十進分類法をそのまま適用する。

昭和 47 年 5 月、全国の美術書関係出版社に寄贈を求める。

昭和 50 年度から教材用スライドフィルムの作成、購入をはじめめる。

各年度末の登録済図書資料冊数は次の通り。

（但し、蒐集の関係で同じものが何冊もあるものも含む）

昭和 46 年度末	2,375 冊
昭和 47 年度末	2,918 冊
昭和 48 年度末	4,460 冊
昭和 49 年度末	5,393 冊
昭和 50 年度末	6,332 冊
昭和 51 年度末	7,190 冊
昭和 52 年度末	8,095 冊
昭和 53 年度末	8,709 冊
昭和 54 年度末	9,454 冊
昭和 55 年度末	10,367 冊
昭和 56 年度末	11,119 冊

昭和 52 年度以後は特に購入の重点を、明治以来の教科書におき、昭和 53 年 7 月収蔵図書資料目録Ⅱ（教科書関係Ⅰ）、同 56 年 7 月、目録Ⅲ（教科書関係Ⅱ）を発行した。

昭和 45 年の火災以後、本会研究の経過における、生徒作品サンプル等の実証的資料は、分野、領域別、問題別、学校種別等に分類整理して保存、その数は凡そ 1,300 点となっている。

戦前の美術工芸学校、絵画専門学校における専門教育の生徒作品も、寄贈によって数百点が蒐集されている。

これらの美術教育関係図書文献資料は、個々のものも重要であるが、1ヶ所にまとめて保存されていることに日本の美術教育のためにも意義があり、その所有権については土曜、日曜等の本会研究に随時活用できることを条件に大学図書館（京都市）に寄贈することを決めている。（昭和53年4月22日役員会）

なお、これらの図書資料は、本会会員及び本学学生には何時でも期限の範囲で貸出しも行っている。

4. 会 員

会員実勢調査（S.45.7.1）

学 校 種 別	専 攻 別
小 中 高 大 学 校 校 校 校 学 他	日 洋 図 形 彫 陶 染 塗 聴 本 サ イ 磁 講 計 画 案 シ 刻 器 織 装 他
京 都	4 64 66 23 4 161 93 26 8 6 3 3 2 20 161
大 阪	8 85 68 11 5 177 80 55 12 3 2 2 1 22 177
兵 庫	22 35 43 12 3 115 50 32 9 7 1 1 1 15 116
滋 賀	0 4 11 5 0 20 11 5 0 1 0 0 0 3 20
奈 和	1 6 11 2 5 25 12 8 0 0 0 2 0 3 25
岡 山	0 3 5 0 0 8 6 2 0 0 0 0 0 0 8
愛 三	1 14 13 10 1 39 16 10 3 4 0 0 0 6 39
東 本	3 13 15 6 2 39 17 10 6 1 0 0 0 5 39
西 本	1 18 31 18 0 68 32 14 11 1 2 2 0 6 68
小 計	40 242 263 87 20 652 317 162 49 23 8 10 4 80 653
学 内 総 計	70
	722

実勢調査 学校種別会員分布（S.55.8.1）

	人 数	%
幼 ・ 保	9	0.8
小 学 校	43	4.0
中 学 校	288	26.5
高 校	355	32.7
大学・短大	283	26.0
養 護 学 校	36	3.3
私 塾 研 等	18	1.7
そ の 他	55	5.0
計	1,087	100.

註・大学、短大には、芸大66、専4を含む。

指導主事、校長は、中・高を含む。

その他は、退職後残留会員、所属機関不明等を含む。

5. 役 員

（昭和27年結成時以来の全役員。
ほど就任順）

会長

長崎太郎 川村多実二 富本憲吉 中田勇次郎
近藤悠三 佐和隆研 梅原猛 佐藤雅彦

副会長

（学内）佐和隆研 堀内正和 佐藤雅彦 弘津友三郎

（学外）金川明治 藤村良一 吉武孝 新見孝
梅戸芳雄 白子修二郎 野崎龍吉

（学内役員）吉川武 田中健一 長崎盛輝 山松質文 城貞男 田村隆照 上村松 高林和作
稲垣稔次郎 堀内正和 谷田閑次 木村重信 仲谷洋平 野崎一良 今井憲一 中井貞次 佐野猛夫 小山喜平 藤崎誠 榊原吉郎 三宅多喜男
金沢大士 林司馬 川村善之 津田周平 石本正安 田謙 来野月乙 中村善種 三尾公三 元井能中野光雄

（学外役員）金川明治 新見孝 荒木賢治 東

野清次 藤村良一 渡辺信正 長野誠之助 中村繁正 吉武孝 梅戸芳雄 白子修二郎 黒田猛 幸野豊一 愛久沢勇 山崎与嗣夫 秋山利彦 白岩侑三郎 富山誠一 木村正夫 野崎龍吉 大林一布 川村善之 熊田誠司 竹内幸人 福島敏之 田中正直 梶村睦親 上田晴也 岡本富久馬 原野弘 小宮信一 大島清 雑賀淳 城登 小島正武 三宅順風 山本隆一 角田博 松本俊三 西片幸作 渋谷芳三郎 寺島三郎 岡本更生 鬼頭篁 鈴木田俊二 片山宏 大島八重子 大城載子 駒井達子 山口吉旺 館花修 寺村晴雄 渋川轟 林正明 加藤正明 松岡征士 黒津康明 大野幹彦 山田弘 倉元英一 大原清 北野重利 富田克 上田歌子 江口善之 谷口侃 土肥通春 鳥頭尾精 寺平誠輔 三木信一 吉村堯 坂手得二 池田一良 星野日郎 宮崎実仁 勝見成太郎 泉地道子 平岡潤 金谷嘉雄 上羽雅夫 尾関礼次郎 宮川実 渡辺洋子 古沢宗太郎 阿部佳男 藤原陽子 松元雅夫 梅元善昭 岩越園子 岩原良仁 名合孝之 川嶋園子 砂押かおる

6. 京都市立芸術大学 美術教育研究会々則

1. 本会は京都市立芸術大学美術教育研究会と称する。
2. 本会の事務所は京都市立芸術大学美術学部内（教職課程研究室）に置く。
3. 本会は美術教育の理念及び方法について研究し、併せて同窓生の現職教育に資することを以て目的とする。
4. 本会は前条の目的達成のために左の事業を行う。
 1. 年2回の総会及び研究発表会を催す。
 2. 会員の研究による業績、参考文献、会報等の紹介並びに出版。

3. その他研究に必要な事業。

5. 会 員

本会は京都市立芸術大学美術学部内各科の関係職員を中心とし、^{給専：美大} ^{美専：美大} 芸大美術学部卒業生及び依託・聴講生修了者にして教育機関関係に在職するもの有志を以て組織する。

6. 本会には左の役員を置く。

会 長	一名	副 会 長	二名
顧 問	若干名	幹 事	若干名
常任委員	若干名	委 員	若干名
会計監査	二名		

役員はすべて総会に於て選出し、その任期は二ヶ年とする。但し重任は妨げない。

7. 役員の仕事

1. 会長は会務を総理する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。
3. 顧問は本会の委嘱を受け諮問にあずかる。
4. 委員は総会の決議による会の運営を代行する。
5. 常任委員は本会運営の常務を処理する。
6. 幹事は本会の庶務並びに会計を処理する。
7. 会計監査は本会の会計を監査する。

8. 会 費

本会の運営は会費（年額 2,000円）及び寄附金その他による。

9. 会の運営は総会の決議によって行い委員会が之を代行する。
10. 会則の変更等は総会出席者の決議によって行う。
11. 別に細則を定める。